

エコーネットコンソーシアム活動状況報告(2019年1月～3月)

分類	活動状況
トピックス	<p>① 経済産業省より「家庭用エアコン/HEMSコントローラ間のAIF仕様」の国際標準開発開始のプレス発表が行われました。 ・2017年より家庭用エアコン/HEMSコントローラ間のECHONET Lite AIF仕様を、ISO/IEC JTC1 SC25 WG1に国際標準提案活動を進めてきましたが、提案していたNew Work Item Proposal(NP)および、Working Draft(WD)に対する各国の投票が12月21日に行われ、(ISO/IEC 14543-4-301)として承認されたことを受けて、2月6日に経済産業省から、国際標準仕様承認に向けて国際標準開発を開始するという主旨のプレス発表が行われました。コンソーシアムとしても、国際標準仕様として承認されるようさらなる活動を進めてまいります。</p> <p>② 第10回エコーネットフォーラムの開催 ・2月8日にシーバンスS館1階大ホールにて第10回エコーネットフォーラムを開催しました。 総勢86名の会員の参加を得て、経済産業省情報経済課の小泉様、神奈川工科大学の一色教授様、パナソニック株式会社の河崎様に特別講演をしていただきとともに、各委員長より2018年度の活動成果報告、会員による技術紹介講演などを行い、成功の裡に終了することができました。また、昨年12月から運用を開始した“ECHONET Lite Web API実験クラウド”の利用手順の紹介とデモ展示を行い、会員への理解を深めることができました。</p> <p>③ ENEX2019/Smart Energy Japan2019展示会出展 ・1月30日から2月1日に東京ビッグサイトで開催されたENEX2019/Smart Energy Japan2019に、神奈川工科大学・スマートハウス研究センターと共催でブース展示およびセミナーを開催いたしました。 共催ブース展示では、エコーネット会員企業16社、非会員企業2社によるECHONET Lite対応製品や技術の展示があり、ECHONET Liteの普及状況を多くの来場者にアピールすることができました。</p>
企画運営委員会	<p>① 第10回エコーネットフォーラムの開催 ・2月8日にシーバンスS館1階大ホールにて第10回エコーネットフォーラムを開催しました。 総勢86名の会員の参加を得て、経済産業省情報経済課の小泉様、神奈川工科大学の一色教授様、パナソニック株式会社の河崎様に特別講演をしていただきました。また、各委員長より2018年度の活動成果の報告、会員による技術紹介講演などを行っていただき、成功の裡に終了することができました。 さらに、昨年12月から運用を開始した“ECHONET Lite Web API実験クラウド”の利用手順の紹介とデモ展示を行い、フォーラムに参加した会員への理解を深めることができました。</p> <p>② ECHONET Lite AIF仕様 認定認証機関、認定試験機関の監査を実施 ・2018年度に認定していた認証機関、試験機関の内部監査結果の審議を実施した結果、2019年度も現行体制を継続することを決定しました。</p> <p>③ ECHONET Lite AIF仕様の国際標準化活動が経済産業省よりニュースリリース ・2月6日、経済産業省のご支援をいただき、神奈川工科大学と共同で推進している「家庭用エアコン/HEMSコントローラ間のAIF仕様」の国際標準化活動が、経済産業省よりニュースリリースされました。 経済産業省: http://www.meti.go.jp/press/2018/02/20190206001/20190206001.html 神奈川工科大学: http://sh-center.org/hemsinfo/3026</p>
技術委員会	<p>① 機器オブジェクト詳細規定 ・「ハイブリット給湯機クラス」を新規に追加、「浴室暖房乾燥機クラス」および「電力量センサクラス」にプロパティの追加変更を行った「Appendix 機器オブジェクト詳細規定 Release L」の会員レビューを開始しました。</p> <p>② 試験ツール ・AIF認証試験ツールをVer.1.3.0(aif.tool-1.3.0)に更新しました。主に、「疑似デバイス機能」、「送信元IPアドレス表示」、「ログの強調・色分け」、「住宅太陽光向けAIF仕様Ver.1.1*対応」などの追加、改訂を行いました。 ・不具合改修を行い、低圧/高圧スマートメータ向け試験ツール Ver.1.12G-R8に更新しました。</p> <p>③ ECHONET Lite WebAPI ・第10回エコーネットフォーラムにおいて、特別展示として実験クラウドのデモ展示を実施しました。</p> <p>④ プラグフェスト開催 ・2月14日から15日に神奈川工科大学HEMS認証支援センターにて、2018年度第2回プラグフェストを開催しました。今回は、7社7チームの会員が参加しました。</p> <p>⑤ その他 ・ECHONET Liteのアーキテクチャの特長を整理した「COMPARISON OF IOT DEVICES ARCHITECTURE IN HOME NETWORK」が、海外学会「13th Multi Conference on Computer Science and Information Systems (MCCSIS)」にて、採択されました。</p>
普及委員会	<p>① 国内普及活動: ・JEMA HEMS専門委員会 HEMS普及WGでの活動および、ERAB検討会/スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会等の情報共有を行いました。 ・ZEH+の補助事業が始まるにあり、ZEHビルダーが興味を引くユースケース紹介の検討を開始しました。</p> <p>② 海外普及活動 ・タイ・チュラロンコン大学にて、計110名の学生に、ECHONET Liteの概要説明および、試験用基板を使ったデモを実施しました。アプリケーション開発に必要なオープンソースやツールの説明、試験用基板を使ったデモで一部学生にデモ方法を伝授しました。</p> <p>③ 国内普及活動 ・ENEX2019 & Smart Energy Japan 2019に出展しました。(1月30日(水)～2月1日(金)に東京ビッグサイト) 出展は、神奈川工科大学とエコーネットコンソーシアムの共催で行いました。展示会場全体には、計43,622名の来場者がありました。 共催の展示ブースでは、20小間の規模で、18社(内会員企業16社)の協力を得て、各社の技術展示を行うとともに、ECHONET 2.0のコンセプト展示などを行い、大変盛況の裡に終わることができました。</p> <p>④ 全体活動 ・エコーネット2.0の方針をベースに、健康機器メーカーへのアプローチを進めています。</p>